

歩行用トラクターの事故を防止するために



後進時には障害物に注意

歩行用トラクターでは、後進時の挟まれ事故が上位を占めています。慎重に操作しましょう。

1. 衝突や挟まれる恐れがあるので、後方の立木、支柱、誘引ワイヤーなどの障害物の周りでは余裕ある距離を保つようにします。
2. いざという時のために、安全装置（挟圧防止装置、デッドマン式クラッチ）の付いた機械を使いましょう。

後進の発進時にはゆっくりと

歩行用トラクターで、後進する時にエンジン回転が高いとハンドルが持ち上がりやすく、転倒などすると「ひかれ」や「巻き込まれ」事故の原因にもなります。慎重に操作しましょう。



1 エンジン回転を極力下げる



2 低い後進速度段に入れる



3 ハンドルをしっかり抑えながら、ゆっくりとクラッチをつなぐ



ロータリー後部カバー
注意！
誤って巻き込まれそうになった時のために、ロータリーのカバーは絶対外さない！

トレーラーをけん引している時はジャックナイフに注意



トレーラーをけん引している時に、急旋回すると後ろのトレーラーに押されて「くの字」に折り畳んだようになり（ジャックナイフ現象）、転倒することがあり危険です。

1. 極力緩やかに旋回するように、速度を下げます。
2. 操向クラッチではなく、**ハンドル操作で旋回**します。
3. 特に坂道ではジャックナイフ現象を起こしやすいので速度を下げエンジブレーキを使用しましょう。

注意！

トレーラーをけん引していない時でも、下り坂でサイドクラッチを切るとクラッチを切っていない方向に急旋回するので注意が必要です。



国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）
農業機械研究部門（農機研）

〒331-8537 埼玉県さいたま市北区日進町1丁目40番地2

TEL 048-654-7000 URL <https://www.naro.affrc.go.jp/org/brain/anzenweb/>